

金の卵

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）の河野伶奈氏（24）は、同社川崎営業所（川崎市川崎区）で、フォークリフトによる入出庫・保管作業に従事している。河野氏の入社後、職場には眞のチームワークが生まれる「化学変化」が生じた。丸島運輸（江藤博一社長、神奈川県平塚市）の原田壱誠（いっせい）氏（23）は、ドライバー未経験ながら、入社から2カ月でプロドライバーデビュー。「社員同士仲が良く、20代の若いドライバーが多いのも職場の魅力」と話す。（吉田英行）

驚きから興味持つ

2016年4月入社の

河野氏は、クレーンゲート機の景品をメインに扱う同営業所の4階で、バッテリー式リーチフォークリフトを巧みに操る。

残業が多いと思われが

う。 「作業や在庫の情報を

営業所内で隨時共有し、手が足りないフロアにスタッフを回すなど、連携とチームワークで残業を抑制している」

中学から大学まで、陸上競技に打ち込んだ。「陸上はやり切った。社会人

になつたら、自分の知ら
ないことに挑戦したい」

「普通の会社は採用担当者サイトを見て、同社の上だが、自分と1、2歳



ダイワコーポ 河野 伶奈氏

職場にチームワーク

『プロ』の仕事に憧れ

しか違わない若い担当者ばかりで、その驚きから興味を持った

河野氏は、入社3年末

満の若手社員で構成する「和く和くプロジェクト」のメンバーになつてお

り、18年度は採用活動にも加わる予定だ。

「物流業界は学生にはなじみが薄い。聞きたいことを聞けず、不安になつて尻込みすることの無

いよう、質問にしつかりと話す。

答えたい。物流の魅力を知つてもらい、就職の選択肢となればうれしい」

同営業所の谷川吉英所長（44）は「河野さんが

入つてから、各社員が自分が担当業務を越えて手伝いやフォローをするよ

うになり、チームとして動く化学変化が生まれた。女性目線のきめ細かさが、新たな顧客サービスにもつながるだろう」と話す。